

平成29年度第1回みやま市総合教育会議 会議録

- ◆日時 平成29年11月22日 午後3時00分
- ◆場所 みやま市役所3階 応接室

1. 出席構成員（6名）

- ・市長 西原 親
- ・教育長 長岡 廣通
- ・教育委員 堤 央宜
- ・教育委員 井上 正明
- ・教育委員 樺島 靖子
- ・教育委員 湯汲 和代

2. 事務局出席者（9名）

市長部局

- ・副市長 高野 道生
- ・総務部長 馬場 洋輝
- ・秘書広報課長 久保井 千代

教育委員会

- ・教育部長 野田 圭一郎
- ・学校教育課長 加藤 武美
- ・社会教育課長 古賀 富美子
- ・指導室長 横山 浩志
- ・学校教育課課長補佐兼
学校教育係学務担当係長 松尾 郁代
- ・学校教育課総務係長 小柳 るみ

3. 次第

1. 開会（市長あいさつ 教育長あいさつ）
2. 教育委員紹介
3. 事務局紹介
4. 議事録署名人の指名等
5. 報告事項
 - (1) 学校再編の進捗状況について
 - ①第2グループの現状
 - ②第5グループ（瀬高中と東山中）の統合について
 - ③経過と今後の見通し

- (2) 平成29年度教育施策について
- (3) 地域学校協働本部について
- (4) その他

当日配布 ・児童生徒数等の推計(平成29年度)
・平成29年度みやま市教育施策
・コミュニティ・スクール(学校運営協議会)と地域学校協働活動(地域学校協働本部)について

【午後3時00分 開会】

1. 開会

市長あいさつ

平成29年度第1回みやま市総合教育会議を開催したところ、教育委員・教育委員会職員、市長部局からは高野副市長をはじめ多数の皆様にご出席いただき、ありがとうございます。

最近、山門高校や山川中、瀬高中へ講話に行った際、生徒達に向けて3つの柱として、「日本国憲法が非常に素晴らしい憲法であって、そのお蔭で平和を築いているため有り難く思わなければならない。もう一つは目標を持って小さい頃から努力をすれば、必ず自分の目標が何か達成出来るから頑張ってください。また地方創生ということで、地方在住者が減少しているため、地方に残って頑張ってくださいようお願いします。」と話をすると、生徒達は真剣に耳を傾けて聞いてくれるので、自分の将来のことについて色々思っているのではないかと感じたところでございます。

また、今日の資料を見ていただきますと、学校編制はどうしても避けて通れないという思いでございますので、教育委員の皆様にごゆっくりご議論いただきまして、甚だ簡単ですが、挨拶とさせていただきます。

教育長あいさつ

各位ご多用の中ご出席いただき、誠にありがとうございます。今日の会議は、元々上庄小と下庄小の統合について協議をしていただくことを眼目に設定をさせていただいておりました。上庄校区の今後の動きを見守りたいと思うが、協議事項であった上庄小と下庄小の統合について、本日は報告事項とし、7月に市長協議後の教育委員会の動きを報告させていただきたい。

また、長い間の懸案であった中学校教育が、やっと好転し始めており、非常に喜ばしい状況でございます。4月に恒例の全国学力学習調査がありましたが、山川中学校は南筑後教育事務所管内の37中学校で、トップクラスになっております。特に一番の課題であった瀬高中学校ですが、11月9日の県教育委員会指定の研究発表会を開催し、非

常に好評でございました。小中学校交流人事を始めましたが、そのようなことが功を奏し始めていると感じているところです。中学校の風土改革は、ここ2、3年で変革したいと思っています。

また、平成29年度教育施策の中に教育大綱が入っていますが、市長の施政方針の7つの重点施策を具体化する形で、改定していく予定です。

本日は、来年度の新規事業として立案中である地域学校協働本部事業について提案させていただきますので、忌憚のないご意見をお願いします。

2. 教育委員紹介

事務局より紹介

3. 事務局紹介

自己紹介

4. 議事録署名人の指名等

(市長) 西原 親

(教育委員会) 教育長 長岡廣通

・・・全員同意・・・

5. 報告事項

(1) 学校再編の進捗状況について

【学校教育課長】 ①第2グループの下庄・上庄・本郷小学校の現状についてだが、本郷小の子ども達は、本年度より編入して下庄小学校に通っており、生き活きと下庄小の子ども達と学校生活を送っている。

上庄小で昨年の9月にPTAの保護者に対して行われたアンケートでは、約9割が統合に賛成となっている。

教育委員会では、今年の9月24日上庄まちづくり協議会に対し、9月30日に上庄小PTAに対して状況報告として、本郷小の下庄小への編入の状況、通学対策等の説明を行い、その中での意見としては統合賛成の発言が多数であった。

【教育長】 上庄校区の動きを見守っていきながら、出来れば早い時期に新校開校としたい。

【井上教育委員】 本郷小は編入となっているが、3校統合という場合に上庄小と下庄小と統合した時は、本郷小はどういう取り扱いになるのか。

【教育長】 本郷小はその時点で廃校となる。

【学校教育課長】 ②第5グループの統合について、学校統合時期の順序から言えば、瀬高・東山中が次の統合となる。

第2グループの統合協議会設置後に、東山中と瀬高中の学校統合に向けた取組が始まる時期と考えているため、具体的な取組を行ってはいないが、東山校区の1中2小学校の保護者から聞き取りを行い統合に関する意見を伺っている。

この3名の個人的意見、周りの保護者や地域の方の声という事で、校区の方の総意では無く、一部の意見になります。報告します。瀬高中学校と統合するよりも、まずは水上・清水小と統合し、東山中への小中一貫校に出来ないか。小学校の統合は問題ないが、瀬高中との統合は懸念するというご意見。瀬高中へ行く事に対して東山中の生徒や保護者が学力低下になるのではないかと不安に思っている。等とのことである。中学生は小学生と比べると思春期等で生徒同士が仲良くなれるのか懸念もされている。早い時期から説明会を開催し、生徒間での交流を取り組む必要があると考えている。

【市長】 時間をかけて地域の皆さんのご意見を聞いて進めていくべきである。

【学校教育課長】 地域の合意の上で進めていく。

【副市長】 じっくりと説明をしていけば、理解をいただけると思う。

【総務部長】 再編計画が基本であるので、途中で見直し等を行うことによって他の統合予定の学校に影響が出ることになる。

【学校教育課長】 ③今後の見通しについて、資料「児童生徒数等の推計」の上庄小と開小を参照していただくと、平成33年度に複式学級になる予定である。

第2グループが平成32年度に統合が出来れば上庄小の複式学級は解消される。但し、開小学校については、それ以降の統合ということになる。

【教育部長】 今の計画としては、第2グループ、次に第5グループの瀬高・東山中から清水・水上小となっている。それ以降の年度は示していないが、開・江浦・岩田・二川小の4校統合となっている。

【堤教育委員】 再編計画通り進むとなれば、開小の複式学級は続くと思うが、複式学級のデメリットが相当なウエイトを占めてくると考えられる。

【教育長】 複式学級を避けるためには、計画の途中でどこか入れるしかない。
複式学級の解消を先に解決するためには、計画の順番を入れ替えるための協議をする必要が出てくる。この総合教育会議の意見で変更していくのかどうか。

【副市長】 子どもの教育環境のために進めているのであるため、早急に取り組んで行く必要があると思う。

【教育長】 開小の複式解消を優先するのであれば、再編計画全体の変更の協議をしなければならない。

【学校教育課長】 次回の総合教育会議でも協議出来ますが。

【教育長】 第2グループの動きが出てから協議したいと思う。

(2) 平成29年度教育施策について

【教育部長】 資料「平成29年度教育施策について」内容説明

【学校教育課長】 質疑等ありませんか。

「質疑なし」

(3) 地域学校協働本部について

【教育部長】 資料「地域学校協働本部について」内容説明

【教育長】 今までは、学校が地域人材を中心に支えて指導していただいていたのが、学校や子ども達が地域に何が貢献出来るかという双方向に持っていく事業である。また、各校区の実情に応じて取り組んで行く。もう一つは、この活動を通して学校を支えていただく方々との新しいコミュニティを作っていく。

【学校教育課長】 質疑等ありませんか。

「質疑なし」

(4) その他

【学校教育課長】 その他ご意見等ありませんか。

【市長】 みやま市全体でのいじめの実態はどうか。

【指導室長】 いじめの実態はゼロではないため、それぞれで解決の方法を取っている。ただ、国よりいじめの認知度を上げるよう指導があつているため、ゼロに近い分も上げていただいているが、少ない方である。

【副市長】 不登校の数はどうか。

【指導室長】 小学校4名、中学校11名である。

【午後4時00分 閉会】